

何のために

筑西市立関城中学校

一年 岡野 志央理

私は、消費税について調べた。一番身近な税である消費税とは、どのような仕組みなのだろうか。

まず、消費税とは、特定の物品やサービスに課税する個別消費税とは異なり、消費に広く公平に負担を求める間接税である。消費税の課税対象となるものは、国内において事業者が事業として対価を得て行う資産の譲渡、貸付け及び役務の提供と外国貨物の引取りとなつてゐる。この消費税の特徴は、流通の段階で、商品や製品などが販売される度その販売価格に上乘せされるが、最終的に税を負担するのは消費者となる。また、軽減税率が適用されるのは、飲食料品と新聞である。飲食料品とは、食品表示法に規定する食品をいい、一定の一体資産を含むが、酒類を除く。なお、外食やケータリング等は軽減税率の対象には含まれない。また、軽減税率の対象となる新聞とは、一定の題号を用い、政治、経済、社会、文化等に関する一般社会的事実を掲載する週2回以上発行されるもの、つまり、定期購読契約に基づくものをいう。

私たちが納めた税金は、警察・消防や、道路・水道の整備や、年金・医療・福祉・教育などに使われている。しかし、税金がなけれ

ば、救急車が有料になるほか、医療費はすべて自己負担、ごみ収集が有料、交番が有料など、公共サービスを受けるのにお金がかかるようになる。税金は、公立の小・中学校の場合、教科書やパソコン、実験器具や体育用品などに使われたり、宇宙開発や科学技術の研究、政府開発援助・ODAなどに使われている。

私は、つい最近まで税金の使い道について全く気にしていなかった。でも、小学校六年生になると、少しでも教わった。税金がこの世界からなくなると、どうなるのだろうか、というものを観たら、全く別の世界のようなだった。税金は、何のためにあるのかを考えた。その答えは、世界平和だ。日本だけではなく、世界の人々のために支援することも大切だからだ。世界には、多くの人々が貧困や飢餓に苦しみ、深刻な事態になっている国が多くある。見過ごすことができない国のためにも、税金は大切だと思ひ知らされた。